

2023 県議選候補予定者との面談内容【ご本人確認済み】

面談日時 2023.3.15

候補予定者名（ 土田竜吾さん ）

つな脱担当者名（ 植木史将 ）

・3つの検証報告書について

土：概要版は目を通した。報告書そのものは見れていない。避難委員会のまとめが無責任。課題がいっぱい。技術委員会の報告については、柏崎の安全対策は参考ではなく、しっかりまとめるべき。生活分科会の報告については、私は保養キャンプにも携わってきた。被曝の調査をもっと責任を持ってすべき。被曝は長期の影響がある。避難生活の実体は大変。国がしっかり補償すべき。

植：これだけの課題が正式に上がってきて再稼働という判断になるのか。

土：知事が稼働の判断するなら認識を疑う。

・停止中と稼働中の事故進展の比較について（2017.10.4 東電提出データを提示）

土：この資料は知らなかった。

植：危険性が同じなら、経済のために今ある原発は稼働させた方がいいという方がけっこういる。

土：稼働したら危険性が増すと思う。

・3月6日の県議会での最大会派からの慎重意見について（「今の東電が再稼働することは受け入れがたい」など）

土：セキュリティの問題から風向きが変わった。危険な認識は党派を超えて共有すべき。

植：その通りで、とても大事なことだと思う。

・避難計画について（3つの検証についてと重なる部分あり）

土：屋内退避で被曝しない保証ない。実効性ある避難計画を行政がよく考えるべき。

植：県も市も「できるだけ被ばくを低減させる」と言う。「被曝させない」とは言わない。

土：全員で行う避難訓練ができない。

植：確かにそれをしないと実際にどうなるか検証できないけど、やれない。

・再エネ促進について

土：再エネを促進しないことがリスク。電気代の面でも。再エネの方が安くなってきている。石炭、ガス、原発、みな輸入に頼っている。地域で発電することが経済安全保障につながる。

植：国も自治体も本気で取り組んでいるとは思えない。

・柏崎再稼働について

土：認められない。立地自治体と国とのコンセンサスをどうするか。UPZ 全体で協議すべき問題。動かしたら本当に電気代が安くなるのか調べたい。

植：国や電力会社が明確に示すべきだが、示していない。